令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 20-003
 担当 小木曾
 内線等 418

PDCA	事務事業名	ふたば園管理運営事業	部課等名	健康子ども部 幼児保育課 保育担当			
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節： 第1節 子育て・子育て支援の推進					
		基本施策： 2. 幼児教育・保育					
		単位施策： (1) 幼児教育・保育の充実					
	根拠法令等	半田市立ふたば園条例、半田市立ふたば園条例施行規則					
	対象・目的	心身等の発達に遅れがあると思われる概ね1歳児・2歳児とその保護者や子育てに自信が持てない保護者を対象として、療育の場を提供し、その育成を助長する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	母子50組に対し職員4人を配置し、心理士、音楽療法指導員に年に数回の指導を依頼する。療育に関わる職員としての資質向上のため研修会等を実施する。また、保護者にふたば園の役割を正しく理解してもらうため、施設見学や体験を実施する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①ふたば園利用組数(児童・保護者)	52	53	40	組	
		②療育実施延べ組数(児童・保護者)	1,893	1,881	1,376	組	
		③					
		事業費	2,816	2,654	3,168	千円	
		人件費	19,713	23,103	22,885	千円	
		総事業費	22,529	25,757	26,053	千円	
	活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位		
	①利用者一組あたりの年間管理運営費	433	486	652	千円		
	②						
	③						
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①ふたば園利用組数	実績値	52	53	40	組
			目標値	50	50	50	
②ふたば園入園率(紹介数に対する入園数)		実績値	73.7	52.2	75	%	
		目標値	75.0	75.0	75.0		
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	B 心身等の発達に遅れがあると思われる児童や子育てに自信の持てない保護者に対してきめ細かい対応に努め、適切な療育・子育て支援を行うことができた。新型コロナウイルス感染症の影響や保健センターの健診後フォロー教室参加者数がわずかに減少したことなどに伴い、保健センターからの紹介数は減少したものの(元年度:36人、30年度:67人、29年度:57人)、ふたば園入園率は目標値を達成することができた。今後も施設見学時などにふたば園の役割を正しく理解してもらえるよう努めるとともに、個々に応じた保育・教育施設や療育施設への入園や加配・通級支援クラス等の支援体制に適切につないでいく。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 早期療育は重要であることから、園開放「ふたばであ・そ・ぼ」などを通じ、保護者や関係機関と深く関わり、保護者にふたば園の役割を正しく理解してもらい、関係機関からの紹介児童等を入園につなげていく。また、療育を通じて親子の関わりを深め、保護者が自分の子どもにあった具体的な関わり方を見つけていけるよう支援し、保護者同士の交流の機会の提供を行う。その他、保健センター等からの紹介で発達に心配のある方を対象に施設見学を実施し、保健師とともに育児相談を行う。					
	令和2年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①ふたば園利用組数	50	組			
		②ふたば園入園率(紹介数に対する入園数)	75.0	%			